

藤沢市アートスペース 令和6年度企画展Ⅲ

「廣川 玉枝 | 皮膚のデザイン」

藤沢市アートスペースでは、身近な美術鑑賞の機会のある場を設ける、という目的で様々な展覧会を毎年開催しています。

今年度、第3弾目となる展覧会は、^{ひろかわ たまえ}「廣川 玉枝 | 皮膚のデザイン」。

本展では「身体と衣服の可能性」をコンセプトに無縫製ニット「スキン シリーズ」をデザインした藤沢市出身のデザイナー、廣川玉枝の創造の軌跡をご紹介します。

【展覧会概要】

日時 2024年10月5日（土）から12月22日（日）まで
午前10時～午後7時（入場は午後6時45分まで）

（休館日 月曜日 ※ただし10月14日（月・祝）、11月4日（月・振休）は開館、翌火曜日休館）

場所 藤沢市アートスペース（JR辻堂駅北口から徒歩5分）

展示構成 <展示ルーム1>

2006年以降、研究開発を続けている「スキン シリーズ」を中心に紹介し、廣川の「皮膚のデザイン」の思考を紐解きます。

<展示ルーム2>

「スキン シリーズ」の新作インスタレーション作品を展示します。



SOMARTA Skin Series "ATLAS", 2018
© SOMA DESIGN
Photo: SINYA KEITA (ROLLUPstudio.)



"Skin + Bone Chair", 2008
© SOMA DESIGN
Photo: Takeshi Fukui (SOMA DESIGN)

アーティスト紹介



Photo: SINYA KEITA
(ROLLUPstudio.)
©SOMA DESIGN

廣川 玉枝 | Tamae Hirokawa

クリエイティブディレクター／デザイナー

2006年『SOMA DESIGN』を設立。同時にブランド『SOMARTA』を立ち上げ東京コレクションに参加。第25回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。単独個展『廣川玉枝展 身体の系譜』の他 Canon『NEOREAL』展 / TOYOTA『iQ×SOMARTA MICROCOSMOS』展 / YAMAHA MOTOR DESIGN『O2Gen-Taurus』など企業コラボレーション作品を多数手がける。2017年 SOMARTA のシグニチャーアイテム『Skin Series』が MoMA に収蔵される。2018年『WIRED Audi INNOVATION AWARD』を受賞。2021年東京オリンピックの表彰台ジャケットをアシックスと共同開発し話題を呼ぶ。同年12月、大分県別府市で開催された芸術祭『in BEPPU』にアーティストとして招聘され『廣川玉枝 in BEPPU』を開催、市民とともに作り上げる新たな祭作品を発表。

関連イベント

「アーティストトーク」廣川 玉枝 × 林 信行

11月4日（月・振休）14:00-15:00

※イベントの詳細は藤沢市アートスペースのホームページをご確認ください。



林 信行 | Nobuyuki Hayashi

ジャーナリスト／コンサルタント

Nobi（ノビ）の愛称でも知られる。テクノロジー、デザイン、アートを基軸に22世紀に残すべき価値を模索し発信するジャーナリスト／コンサルタント。1990年からIT業界を築いたビジョナリーや経営者などを多数取材し、パソコン、インターネット、スマートフォン、ソーシャルメディア、AI普及の最前線を取材。2010年頃からテクノロジーは必ずしも人を豊かにしないと考えを改め、良い未来を生み出すデザイン重視の姿勢の啓蒙に注力。AI時代の足音が聞こえ始めた2015年頃からは課題解決を探すデザインアプローチよりも、課題や問いそのものを探すアートのアプローチが重要と現代アートや教育の取材にも注力。

「ジョブズは何も発明せずすべてを生み出した」など著書多数。

リポルバー社社外取締役。金沢美術工芸大学名誉客員教授。

藤沢市アートスペース／愛称 FAS(エファース)は美術振興施設として2015年にココテラス湘南に誕生しました。展示だけでなく、作品制作ができるレジデンスルームを併設しているのが特徴です。公募による展覧会のほか、地域ゆかりのアーティストによる展覧会、市所蔵作品などの展示、また子どもから大人までが参加できるワークショップなどを開催しています。

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 生涯学習部 文化芸術課
藤沢市アートスペース 担当：石井、鎌田
TEL:0466-30-1816